



システム必要条件
SAS® 8.2 (TS2M0)
Windows版
(CJK 版)

この文書にはWindowsまたはWindows NT、Windows 2000環境でSASをインストールし、実行するための必要条件が記されています。SASを実行する前に、必要条件を満たすようシステムをアップデートする必要があります。この文書に記されている主な必要条件是、以下の通りです。

- ソフトウェア必要条件
- ハードウェア必要条件
- 必要ディスク容量
- 追加機能
- プロダクト特有の必要条件
- グラフィックハードウェアとソフトウェアの互換性

ソフトウェア必要条件

オペレーティングシステム	<p>Windows 2003 Server Family</p> <p>Windows 2000</p> <p>Windows NT 4.0 Service Pack4、5、6a (Service Pack 6はサポートしていません)</p> <p>Windows 95 / 98 /Me</p> <p>Windows XP (32bit)</p>
Webブラウザ	<p>Microsoft Internet Explorer 5 以降</p> <p>Netscape Navigator 4.73 以降 (Netscape Navigator Version6を除く)</p>

- Windows NT 4.0環境でご利用の場合、Microsoft社から提供されているY2K修正モジュールの適用が必要です。
- Windows 2000 Professionalおよび、Windows 2000 Server & Advanced Serverをサポートしています。Datacenter Serverにつきましては、弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。
- Windows 95環境でご利用の場合、Microsoft社から提供されているY2K修正モジュールの適用が必要です。
- Windows 98環境でご利用の場合、Microsoft社から提供されているService Pack 1を適用するか、またはWindows 98 Second Editionである必要があります。
- Windows XPは、Professional/Home Edition のいずれかである必要があります。また32bit版のみサポート対象となります。
- 日本語版オンラインヘルプを閲覧するには Microsoft Internet Explorer 5 以降が必要です。
- ご利用環境のファイルシステムが Long FileName をサポートしている必要があります。
- Windows NT、2000、XP、2003 Server をご利用の場合、NTFSファイルシステムでのご利用を推奨します。

ハードウェア必要条件

サポートするマシン	Intel または Intel互換のプロセッサを搭載したマシン 推奨: Pentium 166MHz以上
提供媒体の形式	CD-ROM
数値演算コプロセッサ	必須ではありませんが、ご利用を強くおすすめします
メモリ容量	Windows , Windows NT, 64MB以上 推奨:128MB Windows XP, Windows 2000 Professional
	Windows NT Server, 256MB以上 推奨:512MB Windows 2000 Server Edition, Windows 2003 Server Family
モニタ	SVGA、XGA スクリーン解像度 : 800x600以上推奨
マウス	必須

必要ディスク容量

ソフトウェアプロダクト	必要容量(Mバイト)
Base SAS®必須プロダクト	計 386.9
Base SAS(必須)	(0.6)
Core SAS(必須)	(144)
DBCSサポートファイル	(74.7)
日本語サポートファイル	(130.6)
Shared Componentsファイル	(37)
SAS/ACCESS® Interface to Baan	0.7
SAS/ACCESS® Interface to DB2	0.4
SAS/ACCESS® Interface to ODBC	0.5
SAS/ACCESS® Interface to OLE DB	0.4
SAS/ACCESS® Interface to ORACLE	0.5
SAS/ACCESS® Interface to PC File Formats	1.3
SAS/ACCESS® Interface to PeopleSoft Software	0.5
SAS/ACCESS® Interface to R/3	14.0
SAS/ACCESS® Interface to SAP BW	1.8
SAS/ACCESS® Interface to SYBASE	0.5
SAS/ACCESS® Interface to Teradata	0.4
SAS/AF®	4.0
SAS/ASSIST®	17.0
SAS/CONNECT®	2.1

SAS® Data Quality – Cleanse	5.6
SAS/EIS®	23.1
SAS® Enterprise Miner Server	100.0
SAS/ETS®	20.0
SAS/FSP®	0.6
SAS/Genetics™	0.6
SAS/GIS®	52.0
SAS/GRAPH®	29.0
SAS/GRAPHマップデータセット	127
SAS/GRAPH Shared Components ファイル	5.0
SAS® High-performance Forecasting	0.5
SAS/IML®	5.0
SAS/INSIGHT®	10.0
SAS® Integration Technologies	8.5
SAS/IntrNet®	3.6
SAS® IT Resource Management (IT Service Vision)	155.0
SAS/LAB®	6.0
SAS/MDDDB Server®	12.0
SAS OnlineTutor®	57.0
SAS/OR®	28.0
SAS/SECURE™	0.6
SAS/QC®	22.0
SAS® Research Data Management	50.0
SAS® Risk Dimensions Analyst Edition	505.7
SAS® Risk Dimensions Enterprise Edition	584.2
SAS/SHARE®	35.0
SAS/SPECTRAVIEW®	13.0
SAS/STAT®	29.0
SAS/TOOLKIT®	8.0
SAS/Warehouse Administrator®	17.0
SAS® WebHound	18.0
HTMLヘルプファイル(IE機能を使用しないヘルプファイル)	119.2
Microsoft Internet Explorer	23.0

- Base SAS Shared Components ファイルおよび SAS/GRAPH Shared Components ファイルが Windows版SASと共に出荷されています。これらのコンポーネントはSAS® Enterprise Guide® を同一マシンにインストールした際、共用して使用されます。Shared Components ファイルのインストール先は、そのマシンへの初めてのインストール時にのみ選択可能で、2度目以降のインストールではインス

ツール先が固定されます。デフォルトではC:\Program Filesフォルダの下になります。

- SAS System 6において日本語化されていたSAS/LABはメッセージやメニュー等が英語になっています。
- SAS/SECUREは日本語版SAS 8.2のCDにおさめられていません。SAS/SECUREの使用に関しては弊社担当営業にご連絡ください。

追加機能

Webブラウザ

WebブラウザはSASの2つの機能のために使用されます。WebブラウザはInternet Explorerバージョン5、もしくはNetscape Navigator 4.73以降(Netscape Navigator6を除く)である必要があります。ただし、Internet Explorerバージョン5を使用することを強くおすすめします。

1. SAS System 8より追加されたOutput Delivery System (ODS) 機能を使用時、基本的な閲覧はどのブラウザでも行えますが、Internet Explorerバージョン5以降を使用するとODS出力をSAS内のウィンドウにて閲覧することができます。他のブラウザを使用した場合、別ウィンドウにて閲覧することができます。

2. オンラインヘルプシステムはHTMLベースになっています。Internet Explorerバージョン5以降を使用するとWindows98や他の新しいアプリケーションで提供されるヘルプと同様のレイアウト、拡張された検索機能など、高い機能が提供されます。他のブラウザを使用した場合、別のWebブラウザウィンドウにて、基本的なHTMLヘルプを参照することができます。これら2つの機能を利用する場合は、2つのSASオンラインヘルプがインストールされている必要があります。ただし、**日本語版オンラインヘルプを参照するには Microsoft Internet Explorer 5 以降が必要です。**

このように、どちらのブラウザでも2つの機能は使用できますが、より高度な機能を使用するためにSAS 8.2では、Internet Explorerバージョン5以降を使用することを強くおすすめします。

Internet Explorerバージョン5はWindows、Windows NT、Windows2000のSAS 8.2のメディアに同梱されています。SASセットアップはシステムにInternet Explorerバージョン5以降がインストールされていない場合、インストールをすすめるメッセージを表示します。メディア内Internet Explorerバージョン5のインストールが特定のMicrosoftシステムファイルの更新を行うことで、SASのインストール中に再起動を行う回数を減らすことができます。SASのCD-ROMにあるInternet Explorerバージョン5はデフォルトのWebブラウザの設定を変更することはありません。システムにNetscapeや他のWebブラウザがインストールされている場合、共存することができます。

Internet Explorerバージョン5より前のブラウザをデフォルトブラウザとして使用していた場合、システムの変更が行われます。この場合は、Internet Explorerバージョン5にアップグレードされています。

SAS システムビューア

SASシステムビューアは軽量化されたビューアで、SASデータファイルや、他のテキストファイルなどを閲覧することができます。このアプリケーションによってSASの起動や、インストールをすることなくSASデータファイルを閲覧することができます。このアプリケーションは無償で他の人に配布することが可能です。

SASシステムビューアによってローカル上もしくはネットワーク上に存在する以下の形式のSASデータセットやSASカタログを閲覧することが可能です。

- Windows、Windows NT、Windows 2000上のSAS System 8にて作成されたSASデータセット
- Windows、OS/2、DOS上のSAS System 6で作成されたSASデータセット。これらのデータセットは暗号化/圧縮されていても構いません。暗号化されている場合、データセットオープン時にパスワードを入力するよう促します。
- Windows、OS/2上のSAS 6.04～6.12で作成されたSASカタログ
- SASプログラム(.sasファイル)、Outputファイル(.lstファイル)、ログファイル(.logファイル)、設定ファイル(.cfgファイル)
- ローカル上、ネットワーク上に存在するJMPにて作成されたファイル(.JMPファイル)
- 単純なASCIIテキストファイル
- SAS System 8の出力などで作成されたHTMLページ

また、ディスク、ファイルサーバーやFTP、HTTPネットワークプロトコルを使用して他のプラットフォーム (OpenVMS、Macintosh、UNIX、OS/2、Windows、DOS)にて作成されたSAS System 6のSASカタログやSASデータセットを閲覧することができます。

SASシステムビューアをインストールするには、4.8MBのディスク容量が必要です。

SASシステムビューアはインストールメディア内に含まれています。セットアッププログラムはインストールメディア内の(¥sasview¥sv.exe)にあります。このファイルを実行するか、もしくはSASセットアップからインストールすることができます。

Windows NT、Windows 2000上のパフォーマンスモニタおよびイベントログサポート

上級ユーザーや管理者は、Windows NT、Windows2000パフォーマンスモニタを使用して、いくつかのSAS内部の情報を監視することができます。また、これらのOS上のイベントログを使用することで、SASセットアップやSASで発生した重大な問題を調査することができます。これらの機能を追加する際、管理者アカウントにてインストールすることによって他のユーザーがこれらの機能を使用することを防ぐことができます。これらの機能はインストール後にセットアップディスク内(¥sas)フォルダのSETUP.EXEを以下のコマンドラインで実行することにより追加することができます。

WindowsNT、Windows2000にインストールを行う場合：

setup perfmon

WindowsNT、Windows2000からアンインストールを行う場合：

setup uperfmon

Dynamic Data Exchange

Dynamic Data Exchange (DDE)は、他のDDE機能をサポートしているアプリケーションとSASの間で、データの交換を行うことを可能にします。SASはクライアントとしてのみ機能します。

Object Linking and Embedding

SAS/AFとSAS/EISでObject Linking and Embedding (OLE) 2.0の次の機能をサポートしています。

- ・ 埋め込みオブジェクト・リンクオブジェクトの利用
- ・ SCLプログラムによる他のOLEオートメーションサーバー対応アプリケーションのコントロール
- ・ OLEコントロール(OCX)の利用
- ・ ビジュアル編集(インプレイス編集)
- ・ OLEオブジェクトのドラッグ&ドロップ

また、SASはOLEオートメーションサーバーにも対応していますので、Microsoft Visual BasicなどのOLEオートメーションコントローラからSASをコントロールすることができます。OLEオートメーションサーバーの機能は、Base SASに含まれます。

Eメール

メニュー内に「ファイル」→「メールの送信」が用意されています。「メールの送信」によりSASからメールを送ることができます。また、DATAステップのファイルアクセスメソッドや、SAS/AFのSCLを使用して送ることもできます。MAPI、VIMのメールAPIがサポートされています。これらは、MS ExchangeやMS Mail3.2+、Lotus ccMail 8.1(32bitのみ)、Lotus Notes 4.0以降(32bitバージョンのみ)などのサードパーティプロダクトのインストールが必要になります。MAPI経由でSMTPサーバーにアクセスするには、インターネット接続ができる必要があります。

Lotus Notes

Lotus Notesアクセスメソッド、NOTESDB、は新しいドキュメントをSASよりLotus Notesに直接生成することができます。NotesSQL ODBCドライバを使用するとSASからLotus Notesドキュメントにアクセスできます。この機能はLotus Notes Desktopのライセンスがインストールされている必要があります。SASには32bit版のLotus Notes 4.0以降が必要です。

System Requirements Wizard

SAS 8.2より追加されたSystem Requirements Wizardは、SASで使用するサードパーティー提供のコンポーネントやファイルがインストールされているかを確認します。System Requirements Wizardはこれらが無い場合、インストールもしくはアップデートするように知らせます。

以下のテーブルはSystem Requirements Wizardがコンポーネントのアップデートを実行することができるWindowsのバージョンを示しています。

UPDATE	Windows 95	Windows 98	Windows NT	Windows 2000	Windows Me
Microsoft Shell Folder Service 5.50.4027.300	Yes	Yes	Yes	No	No
Microsoft Internet Explorer 5.0	Yes	Yes	Yes	Yes	No
Microsoft Distributed Component Object Model 1.2	Yes	No	No	No	No
Microsoft Distributed Component Object Model Utility 1.2	Yes	No	No	No	No
Microsoft Custom Controls Library 5.80.2614.3600	Yes	Yes	Yes	No	No
Microsoft HTML Help Control 4.74.8875	Yes	Yes	Yes	No	No
Microsoft Data Access Components (MDAC) 2.5	Yes	Yes	Yes	No	No
Visual C++ Redistributables Bundle	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes

System Requirements Wizardの実行方法は、「インストレーションガイド SAS® 8.2 (TS2M0) Windows版」を参考にしてください。

SAS Administrator Wizard

SAS Administrator Wizardは一般ユーザーにSASのインストールをネットワーク上から行わせたいと考える管理者に対して用意されています。ネットワーク上に用意するプロダクトの他に、インストール用ファイル作成のために、以下のディスク容量が必要になります。

Autorun	2 MB
SASセットアップファイル	35 MB
SAS Viewerセットアップ	5 MB
SAS ODBCドライバセットアップ	11 MB
SAS Service Configuration Utilityセットアップ	1 MB
System Requirements Wizard	62.4 MB
SAS Administrator Wizard	1.2 MB
Installation Instructions Documentation	5.4 MB

SAS サービス設定ユーティリティ

SAS サービス設定ユーティリティは管理者に対しSASの機能を特定のコンピュータにてサービスとして実行することを可能にします。SAS Service Configuration Utilityを使用するには0.5MBのディスク容量が必要です。

SAS サービス設定ユーティリティについては「インストレーションガイドSAS® 8.2 (TS2M0) Windows版」の付録を参照してください。

各プロダクトの必要条件

SAS/ACCESS Interface to Baan

- ・必須プロダクト
Base SAS、SAS/ACCESS Interface to Baan
- ・その他
SAS/Warehouse Administrator がインストールされていれば、さらなる機能を利用することができます。
- ・サポートするBaanのバージョン
Baan IV
BaanERP (Baan ユーティリティの Exchange Module が必要です。)

*注意 SAS/ACCESS Interface to Baanを利用するには、BaanユーティリティのExchange Moduleが必要
です。その際は、テクニカルサポートまでお問い合わせください。(連絡先は、本書最終ページに記
載されています。)

SAS/ACCESS Interface to DB2

- ・必須プロダクト
Base SAS、SAS/ACCESS Interface to DB2
- ・その他必要な製品
IBM DB2 Universal Database Client Application Enabler Version 5 以降
IBM DB2 Connect Enterprise Edition, Version 5 以降の DRDA 経由での接続

*注意 Windows98 にて SAS/ACCESS Interface to DB2 をご利用の場合には、IBM DB2 Universal
Database Client Application Enabler Version 5.2 以降をご利用ください。

SAS/ACCESS Interface to DB2 を利用するには、IBM DB2 Client Application Enabler が DB2 サーバ
ーと接続できる状態であることが必要です。Client Application Enabler のセットアップユーティリティを使
用するには、データベース管理者にお問い合わせください。

SAS/ACCESS Interface to ODBC

- ・必須プロダクト
Base SAS、SAS/ACCESS Interface to ODBC、
Microsoft Data Access Components (MDAC) Version 2.5 以降
- ・その他必要な製品
アクセスするデータの ODBC ドライバが必要です。このドライバは DBMS ベンダーやサードパーティー
から提供されます。ネットワーク経由でアクセスする場合は、ドライバによってはさらに DBMS 関連ソフ
トウェアが必要になります。

SAS System 8 より「SAS/ACCESS ソフトウェア SYBASE and SQL Server インターフェイス」が
SYBASE のみに変更され、SQL Server については、「SAS/ACCESS Interface to ODBC」あるいは
「SAS/ACCESS Interface to OLE DB」を使用していただくようになりました。ご契約の変更などに関し
ては、弊社担当営業までお問い合わせください。

SAS System 6にて作成した SQL Server のビューを SAS System 8 へ移行するには、Microsoft SQL Server のコンバージョンユーティリティが必要になります。(このユーティリティは、SAS/ACCESS Interface to ODBC をインストールすると自動的にインストールされる Microsoft Data Access Components (MDAC)に含まれています。)なお、移行方法に関するの詳細は、『SAS システム V8e 移行ガイド Windows 版』をご参照ください。

SAS/ACCESS Interface to OLE DB

・必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to OLE DB

・その他必要な製品

OLE DB データソースプロバイダー、Microsoft Data Access Components (MDAC) Version 2.1 以降

アクセスするデータには、OLE DB プロバイダーが必要です。この OLE DB プロバイダーは DBMS ベンダーやサードパーティーから提供されます。ネットワーク経由でアクセスする場合は、OLE DB プロバイダーによってはさらに DBMS 関連ソフトウェアが必要になります。

*注意 Microsoft Data Access Components (MDAC) は、SAS/ACCESS Interface to OLE DB をインストールすると自動的にインストールされます。

SAS/ACCESS Interface to ORACLE

*注意 現在、SAS/ACCESS Interface to ORACLE は Windows Me ではサポートしていません。(現在、Windows Me をサポートしている Oracle クライアントはありません。)

・必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to ORACLE

・その他必要な製品

Oracle クライアント

- ・ Oracle8i クライアント Version 8.1.5 以降
- ・ Oracle8 クライアント Version 8.0.5 以降
- ・ Oracle7 クライアント Version 7.3.4 以降

Oracle クライアントが Version 7.3.4 の場合

Oracle SQL*Net クライアント Version 2.3 for Windows NT または Windows95

Oracle クライアントが Version 8.x の場合

Oracle SQL*Net クライアント Version 2.3 for Windows NT または Windows95 / 98

Oracle プロトコルアダプター Version 8.x for Windows NT または Windows95 / 98

「SAS/ACCESS Interface to ORACLE」と Oracle SQL*Net クライアント Version 2.3 または Oracle Net8 クライアントが同じクライアントマシン上にインストールされている必要があります。「SAS/ACCESS Interface to ORACLE」は、Oracle クライアント Version 7.3.4 以降をサポートしていますが、サーバー上で Oracle SQL*Net Version 2 のリスナーが起動されていれば、どのバージョンの Oracle データベースへもアクセスすることができます。

「SAS/ACCESS Interface to ORACLE」のバルクロード機能を利用するには、Oracle SQL*Loader dataloading ユーティリティをクライアントにインストールする必要があります。SQL*Loader に関する詳細は、Oracle のインストレーションガイドをご参照ください。

SAS/ACCESS Interface to PC File Formats

- ・必須プロダクト
Base SAS、SAS/ACCESS Interface to PC File Formats
- ・その他必要な製品
Microsoft Data Access Components (MDAC) Version 2.5 以降

Microsoft Data Access Components (MDAC) は、SAS/ACCESS Interface to PC File Formats をインストールすると自動的にインストールされます。

SAS/ACCESS Interface to PeopleSoft Software

- ・必須プロダクト
Base SAS、SAS/ACCESS Interface to PeopleSoft Software、
PeopleSoft Software バージョン 7.5 以上
- ・必要なDBMSプロダクト
SAS/ACCESS Interface to PeopleSoft Software は PeopleSoft Software 上のデータベースにアクセスするために、他の SAS/ACCESS をインストールする必要があります。以下は現在サポートしているプロダクトです：
 - ・ SAS/ACCESS Interface to ORACLE
 - ・ SAS/ACCESS Interface to ODBC
 - ・ SAS/ACCESS Interface to OLE DB

SAS/ACCESS Interface to R/3

- ・必須プロダクト
Base SAS、SAS/ACCESS Interface to R/3
- ・その他
下記の SAS のプロダクトがインストールされていれば、さらなる機能を利用することができます。
 - ・ SAS/Warehouse Administrator
 - ・ SAS/CONNECT
 - ・ SAS/SHARE

SAS/ACCESS Interface to R/3 を利用するには、TCP/IP 等の通信プロトコルが必要です。

- ・サポートするSAP R/3のバージョン
 - ・ SAP R/3 Release 2.2 以降
 - ・ SAP R/3 Remote Function Call Software Development Kit (RFCSDK)

SAS/ACCESS Interface to SAP BW

- ・必須プロダクト
Base SAS、SAS/ACCESS Interface to R/3、SAS/ACCESS Interface to SAP BW

・その他

下記の SAS のプロダクトがインストールされていれば、さらなる機能を利用することができます。

- ・ SAS/EIS および SAS/MDDDB Server
- ・ あるいは SAS/OLAP Server Package

・サポートするSAP BWのバージョン

- ・ SAP BW Release 2.0B

SAS/ACCESS Interface to SYBASE

・必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to SYBASE

・サポートするSYBASEのバージョン

SYBASE Server Release 10.0.1 以降

・必要なDBMSプロダクト

下記の SYBASE Open Client ソフトウェアが必要です。

- ・ SYBASE Open Client Release 11.1 以降
- ・ SYBASE Open Client Release 12.0
- ・ Adaptive Server Enterprise, Release 11.x 以降を推奨します

*注意 SYBASE Open Client 11.1 をご利用の場合は修正ファイルが必要です。その際は、テクニカルサポートまでお問い合わせください。(連絡先は、本書最終ページに記載されています。)

*注意 Sybase ASIQ Release 12.x はサポート対象外ですので、SAS/ACCESS Interface to ODBC をご利用ください。

*注意 SYBASE Open Client 10.4 をご利用の場合は環境設定ファイルに修正を加える必要があります。詳細に関しては、テクニカルサポートまでお問い合わせください。(連絡先は、本書最終ページに記載されています。)

SAS/ACCESS Interface to Teradata

・必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to Teradata

・サポートするTeradataのバージョン

Teradata Version 2 Release 2 以降の Teradata DBS Server

Teradata Utilities Foundation(TUF)Windows ソフトウェア

*注意 TUF のバージョンが Version 6.0 より前のもの場合には、Teradata efix DR47606 を適用する必要があります。

SAS/AF FRAMEエントリ

・必須プロダクト

・アプリケーション作成時

Base SAS、SAS/AF (SAS/GRAPH の機能を使用する場合は SAS/GRAPH)

(アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。)

- ・アプリケーション実行時
Base SAS (SAS/GRAPH の機能を使用する場合は SAS/GRAPH)
(アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。)

- ・プリンタ
グラフィックスベースオブジェクトをプリントアウトするには、カラーまたはグレースケールのプリンタが必要です。
グラフィックスベースオブジェクトを使用しない場合は、オブジェクトによって SAS/GRAPH が必要になることがあります。

SAS/AF ビデオ再生オブジェクト

- ・ハードウェア
サウンドブラスター互換オーディオボード
スピーカー
MCI Microsoft Video for Windows ドライバ
MCI 準拠 MPEG ボード
256 色以上のビデオボード (65K,16.7M 色推奨)

Base SAS ビデオ再生

Base SASのビデオ再生機能により映像ファイルを再生することができます。ビデオ再生オブジェクト(クラス)は、SAS/AFの一部ですが、ビデオ再生機能自体はBase SASに含まれています。

- ・ハードウェア
サウンドブラスター互換オーディオボード
スピーカー
MCI Microsoft Video for Windows ドライバ
MCI 準拠 MPEG ボード
256 色以上のビデオボード (65K,16.7M 色推奨)

SAS/CONNECT

■Windows95 / 98の場合

- ・APPCアクセス方式
Microsoft Windows Open Services Architecture(WOSA)規格の WinAPPC に準拠したネットワークソフトウェアが必要です。

次のソフトウェアのうち、いずれかが必要です。
 - ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack 1)以降
 - ・ IBM Personal Communications Version 4.11 以降
- ・DECnetアクセス方式
次のソフトウェアが必要です。
 - ・ Compaq Pathworks Version 32 with Microsoft's Winsock Version 2.0
- ・EHLLAPIアクセス方式
次のソフトウェアのうち、いずれかが必要です。
 - ・ Wall Data Rumba 2000, Version 6以降
 - ・ Attachmate EXTRA Personal Client, Version 6.1 以降

- Exceed Version 6.1 以降
- IBM PCCOMM(Personal Communications) Version 4.1 以降

• NetBIOSアクセス方式

Windows95 / 98 に標準でバンドルされている NetBEUI プロトコルをサポートしています。

• TCP/IPアクセス方式

Windows95 / 98 に標準でバンドルされている TCP/IP プロトコルをサポートしています。

■Windows NTの場合

• APPCアクセス方式

Microsoft Windows Open Services Architecture(WOSA)規格の WinAPPC に準拠したネットワークソフトウェアが必要です。

次のソフトウェアのうち、いずれかが必要です。

- Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack 1)以降
- IBM Personal Communications Version 4.11 以降
- IBM Communications Server/NT Version 5.0 以降

• DECnetアクセス方式

次のソフトウェアが必要です。

- Compaq Pathworks 32 Version 4.1B 以降

• EHLLAPIアクセス方式

次のソフトウェアのうち、いずれかが必要です。

- Wall Data Rumba 2000, Version 6 以降
- Attachmate EXTRA Personal Client, Version 6.1 以降
- Exceed Version 6.1 以降
- IBM PCCOMM(Personal Communications) Version 4.1 以降

• NetBIOSアクセス方式

Windows NT に標準でバンドルされている NetBEUI プロトコルをサポートしています。

• TCP/IPアクセス方式

Windows NT に標準でバンドルされている TCP/IP プロトコルをサポートしています。

SAS/EIS

• 必須プロダクト

• アプリケーション作成時

Base SAS、SAS/AF、SAS/FSP、SAS/GRAPH、SAS/EIS

(アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。)

• アプリケーション実行時

Base SAS、SAS/GRAPH、SAS/EIS

(アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。)

• メモリ

96MB 以上 推奨 : 128MB 以上

SAS Enterprise Minerソリューション 4.1

- ・必須プロダクト(サーバーPCプラットフォーム)

Base SAS、SAS/STAT、SAS Enterprise Miner ソリューション(下記プロダクトを含む)
(SAS Enterprise Miner Server、SAS/CONNECT、SAS/EIS、SAS/ETS、SAS/FSP、
SAS/GRAPH、SAS/INSIGHT、SAS/MDDB Server、SAS/OR)

- ・メモリ

512MB 以上

- ・必要ディスク容量

SAS Enterprise Miner (サーバーPC プラットホーム)に必要なディスクの容量は上記「必須プロダクト」の合計になります。各々のプロダクトの必要ディスク容量については、「プロダクト単位必要ディスク容量」を参考にしてください。

*注意 すでに SAS 8.2 がインストールされている場合、以前にインストールされていたプロダクト分のディスク容量は不要です。

- ・必須プロダクト(クライアントPCプラットフォーム)

Base SAS、SAS Enterprise Miner Client ソリューション(下記プロダクトを含む)
(SAS Enterprise Miner Client、SAS/CONNECT、SAS/EIS、SAS/ETS、SAS/FSP、SAS/GRAPH、
SAS/INSIGHT、SAS/MDDB Server、SAS/OR、SAS/STAT)

*注意 SAS Enterprise Miner(クライアント PC プラットホーム)には評価版の Enterprise Miner for Text Mining の機能が含まれています。Enterprise Miner for Text Mining はドキュメントやテキストのパターンを評価し、意味解析やテキストの情報をマイニングします。Enterprise Miner for Text Mining は評価版であるため、プロダクトリリース前に変更される場合があります。詳細につきましては、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

*注意 SAS Enterprise Miner(クライアント PC プラットホーム)には、評価版機能である Enterprise Miner J*Score があります。Enterprise Miner J*Score は、Data ステップの Score コードを Java アプレットに変換する機能を持っています。ただし J*Score は評価版であるため、プロダクトリリース前に変更される場合があります。詳細につきましては、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

*注意 SAS Enterprise Miner(クライアント PC プラットホーム)には、日本語版では評価版機能である Enterprise Miner C*Score があります。Enterprise Miner C*Score は、Data ステップの Score コードを C 言語に変換する機能を持っていますが多バイト文字(日本語等)の処理を考慮した C プログラムにはなっていません。詳細につきましては、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

- ・メモリ

48MB 以上

- ・必要ディスク容量

SAS Enterprise Miner(クライアント PC プラットホーム)に必要なディスクの容量は前述「必須プロダクト」の合計になります。各々のプロダクトの必要ディスク容量については、「プロダクト単位必要ディスク容量」を参考にしてください。

*注意 すでに SAS 8.2 がインストールされている場合、以前にインストールされていたプロダクト分のディスク容量は不要です。

SAS/Genetics

- ・必須プロダクト
Base SAS、SAS/Genetics、SAS/GRAPH

SAS/GIS

- ・必須プロダクト
 - ・アプリケーション作成時
Base SAS、SAS/AF、SAS/GIS、SAS/GRAPH
(アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。)
 - ・アプリケーション実行時
Base SAS、SAS/FSP、SAS/GIS、SAS/GRAPH
(アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。)
- ・プリンタ
グラフィックスオブジェクトをプリントアウトするには、カラーまたはグレースケールのプリンタが必要です。グラフィックスオブジェクトを使用しない場合は、オブジェクトによって SAS/GRAPH が必要になることがあります。
- ・ハードウェア
256 色以上のビデオボード (65536 色,1677 万色推奨)

SAS® Information Delivery Portal 1.1

- ・必須プロダクト
Base SAS、SAS Information Delivery Portal Server コンポーネント(下記プロダクトを含む)
(SAS Integration Technologies)
- ・必要ディスク容量
SAS Information Delivery Portal Server コンポーネントに必要なディスクの容量は上記「必須プロダクト」の合計になります。各々のプロダクトの必要ディスク容量については、「プロダクト単位必要ディスク容量」を参考にしてください。

*注意 すでに SAS 8.2 がインストールされている場合、以前にインストールされていたプロダクト分のディスク容量は不要です。

SAS/IntrNet

CGIツールとアプリケーション

- アプリケーションディスパッチャー
 - 必須プロダクト
Base SAS、SAS/IntrNet

*注意 アプリケーションディスパッチャーのコンポーネントは、Web サーバーにインストールする必要があります。

■htmSQL

必須プロダクト

Base SAS、SAS/SHARE、SAS/IntrNet(ライセンス)

*注意 htmSQL のコンポーネントは、Web サーバーにインストールする必要があります。

■MDDDBレポートビューワ

必須プロダクト

Base SAS、SAS/GRAPH、SAS/IntrNet、SAS/EIS または SAS OLAP Server

*注意 アプリケーションディスパッチャーのコンポーネントを Web サーバーにインストールする必要があります。

■Xplore Sample Webアプリケーション

必須プロダクト

Base SAS、SAS/IntrNet

*注意 アプリケーションディスパッチャーのコンポーネントを Web サーバーにインストールする必要があります。

■Design-Time Controls

必須プロダクト

Base SAS、SAS/IntrNet

*注意 アプリケーションディスパッチャーのコンポーネントを Web サーバーにインストールする必要があります。

Java Toolsとアプリケーション

■SAS/CONNECT Driver for Java

必須プロダクト

Base SAS、SAS/CONNECT、SAS/IntrNet、SAS/SHARE(データサービスを使用する場合)

*注意 Java Tools パッケージを Web サーバーかクライアントにインストールする必要があります。

■トンネル 機能

UNIXまたはWindowsのWebサーバーにインストールする必要があります。

■メタスペースエクスプローラアプレット

必須プロダクト

Base SAS、SAS/SHARE、SAS/IntrNet

SAS IT Resource Management (IT Service Vision) 2.5

・必須プロダクト(サーバーPCプラットフォーム)

Base SAS、SAS IT Resource Management Server ソリューション(下記プロダクトを含む)

(SAS IT Resource Management Server、SAS/AF、SAS/CONNECT、SAS/EIS、SAS/ETS、SAS/FSP、SAS/GRAPH、SAS/INSIGHT、SAS/MDDB Server、SAS/STAT)

・必要ディスク容量

SAS IT Resource Management (サーバーPCプラットフォーム)に必要なディスクの容量は上記「必須

プロダクト」の合計になります。各々のプロダクトの必要ディスク容量については、「プロダクト単位必要ディスク容量」を参考にしてください。

*注意 すでに SAS 8.2 がインストールされている場合、以前にインストールされていたプロダクト分のディスク容量が必要ありません。

・その他の必要条件

Demand Technology Software NTSMF パッケージ

*注意 Demand Technology Software NTSMF パッケージは Windows NT リソース利用状況の収集を NTSMF で行いたい場合にのみインストールが必要です。

・必須プロダクト(クライアントPCプラットフォーム)

Base SAS、SAS IT Resource Management Client ソリューション(下記プロダクトを含む)
(SAS IT Resource Management Client、SAS/AF、SAS/CONNECT、SAS/EIS、SAS/ETS、SAS/FSP、SAS/GRAPH、SAS/INSIGHT、SAS/STAT)

・必要ディスク容量

SAS IT Resource Management (クライアントPCプラットフォーム)に必要なディスクの容量は上記「必須プロダクト」の合計になります。各々のプロダクトの必要ディスク容量については、「プロダクト単位必要ディスク容量」を参考にしてください。

*注意 すでに SAS 8.2 がインストールされている場合、以前にインストールされていたプロダクト分のディスク容量が必要ないことになります。

・その他の必要条件

SAS IT Resource Management は利用するには最低 800×600 の解像度が必要です。これより低い解像度で利用している場合、いくつかのウィンドウが正しく表示されない場合があります。フォントの表示に問題がある場合は、デフォルトの SAS フォントを使用することができます。デフォルトの SAS フォントを使用するには、コマンドバーにて"dlgfont"と入力し、フォントウィンドウにて、font を"Sasfont"、style を regular、font size を"10"に設定してください。

Adobe Acrobat Reader3.x 以降がいくつかのオンラインドキュメントを印刷する場合に必要です。

SAS/LAB

・必須プロダクト

Base SAS、SAS/GRAPH、SAS/LAB
(データの入力、内容確認、修正用に SAS/FSP のご利用をおすすめします。)

SAS Marketing Automation ソリューション

・SAS Marketing Automation Server必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS (各種)、SAS Marketing Automation Server ソリューション(下記プロダクトを含む)
(SAS/AF、SAS/CONNECT、SAS/EIS、SAS Enterprise Miner Server、SAS/ETS、SAS/GRAPH、SAS Integration Technologies、SAS/IntrNet、SAS/MDDB Server、SAS/OR、SAS/SHARE、

SAS/STAT)

・SAS Marketing Automation Server必要ディスク容量

SAS Marketing Automation Serverに必要なディスク容量は上記「必須プロダクト」の合計になります。各々のプロダクトの必要ディスク容量については、「プロダクト単位必要ディスク容量」を参考にしてください。

*注意 すでに SAS 8.2 がインストールされている場合、以前にインストールされていたプロダクト分のディスク容量は不要です。

・SAS Marketing Automation Client必須プロダクト

Base SAS、SAS/CONNECT、SAS/Warehouse Administrator

・SAS Marketing Automation Client必要ディスク容量

SAS Marketing Automation Clientに必要なディスク容量は上記「必須プロダクト」の合計になります。各々のプロダクトの必要ディスク容量については、「プロダクト単位必要ディスク容量」を参考にしてください。

*注意 すでに SAS 8.2 がインストールされている場合、以前にインストールされていたプロダクト分のディスク容量は不要です。

SAS/MDDDB Server

・メモリ

必要メモリは、生成される階層の複雑さ(次元の数)に依存します。階層が複雑になるほど必要メモリは増加します。

48MB 以上のメモリ必須

64MB 以上のメモリ推奨

SAS® Microarray Solution-Server 1.0

・必須プロダクト

Base SAS、SAS Research Data Management-Server、SAS Microarray Solution-Server、SAS/STAT

Java Runtime Environment(JRE)が必要です。詳しくは「*Installation Instructions for SAS Research Data Management, Release 1.2 and SAS Microarray Solution, Release 1.2 and SAS Microarray Solution, Version 1.0*」を参照してください。

・必要ディスク容量

SAS Microarray Solution-Serverに必要なディスクの容量は上記「必須プロダクト」の合計になります。各々のプロダクトの必要ディスク容量については、「プロダクト単位必要ディスク容量」を参考にしてください。

*注意 すでに SAS 8.2 がインストールされている場合、以前にインストールされていたプロダクト分のディスク容量が必要ないことになります。

SAS OLAP Serverパッケージ

- ・必須プロダクト

Base SAS、SAS OLAP Server パッケージ(下記プロダクトを含む)
(SAS/MDDDB Server、SAS/AF、SAS/GRAPH)

- ・必要ディスク容量

SAS OLAP Server パッケージに必要なディスクの容量は上記「必須プロダクト」の合計になります。
各々のプロダクトの必要ディスク容量については、「プロダクト単位必要ディスク容量」を参考にしてください。

*注意 すでに SAS 8.2 がインストールされている場合、以前にインストールされていたプロダクト分のディスク容量が必要ありません。

SAS OnlineTutor

- ・必須プロダクト

Web ブラウザで閲覧する場合、Netscape Navigator4.73 以降が必要です。

SAS Research Data Management 1.2

- ・SAS Research Data Management-Server必須プロダクト

Base SAS、SAS Research Data Management-Administrator、SAS Research Data Management-Server(下記プロダクトを含む)
(SAS Research Data Management、SAS/AF、SAS/CONNECT、SAS/FSP、SAS/GRAPH、SAS Integration Technologies、SAS/SHARE、SAS/ACCESS Interface to PC File Formats)

Java Runtime Environment(JRE)が必要です。詳しくは「*Installation Instructions for SAS Research Data Management, Release 1.2 and SAS Microarray Solution, Release 1.2 and SAS Microarray Solution, Version 1.0*」を参照してください。

- ・必要ディスク容量

SAS Research Data Management-Serverに必要なディスクの容量は上記「必須プロダクト」の合計になります。各々のプロダクトの必要ディスク容量については、「プロダクト単位必要ディスク容量」を参考にしてください。

*注意 すでに SAS 8.2 がインストールされている場合、以前にインストールされていたプロダクト分のディスク容量が必要ないこととなります。

- ・SAS Research Data Management-Administrator必須プロダクト

Base SAS、SAS Research Data Management-Administrator(下記プロダクトを含む)
(SAS/CONNECT、SAS/Warehouse Administrator)

Java Runtime Environment(JRE)が必要です。詳しくは「*Installation Instructions for SAS Research Data Management, Release 1.2 and SAS Microarray Solution, Release 1.2 and SAS Microarray Solution, Version 1.0*」を参照してください。

- ・必要ディスク容量

SAS Research Data Management-Administratorに必要なディスクの容量は上記「必須プロダクト」の合計になります。各々のプロダクトの必要ディスク容量については、「プロダクト単位必要ディスク容量」

を参考にしてください。

*注意 すでに SAS 8.2 がインストールされている場合、以前にインストールされていたプロダクト分のディスク容量が必要ないことになります。

SAS Risk Dimensions 3.3

*注意 SAS Risk Dimensions は Windows95 および 98 上では動作しません。

・オンラインヘルプ

オンラインヘルプを閲覧する場合、Internet Explorer バージョン 5 が必要です。

・必要ハードウェア

CPU

- Pentium II プロセッサ 400Mhz 以上 必須
- デュアル Pentium III プロセッサ 400Mhz 以上 推奨

モニタ

- VGA モニタ (SVGA モニタ推奨)

メモリ

- プロセッサごとに 512MB のメモリ必須
- プロセッサごとに 1GB のメモリ推奨

・その他

RiskWeb レポートを表示させるため、Web サーバーが必要になります。

SAS/SECURE

*注意 SAS/SECURE は日本語版 SAS 8.2 の CD におさめられていません。SAS/SECURE の使用に関しては弊社担当営業にご連絡ください。

Microsoft 社が cryptographic service へアクセスするために提供しているアプリケーションプログラミングインターフェイス、CryptoAPI は、下記のものに含まれています。

- ・ Windows 95 (Internet Explorer の一部)
- ・ Windows NT (Service Pack 3 以降がインストールされている場合は、オペレーションシステム一部)

CryptoAPIを使用するWindowsホストには下記のどちらかをインストールしてください。

- ・ Microsoft Base Cryptographic Service Provider
- ・ Microsoft Enhanced Cryptographic Service Provider

SAS/SHARE

■Windows95 / 98の場合

・APPCアクセス方式

Microsoft Windows Open Services Architecture(WOSA)規格の WinAPPC に準拠したネットワークソフトウェアが必要です。

次のソフトウェアのうち、いずれかが必要です。

- ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack 1)以降
- ・ IBM Personal Communications Version 4.11 以降

・DECnetアクセス方式

次のソフトウェアが必要です。

- ・ Compaq Pathworks Version 32 with Microsoft's Winsock Version 2.0

・NetBIOSアクセス方式

Windows95 / 98 に標準でバンドルされている NetBEUI アクセス方式をサポートしています。

・TCP/IPアクセス方式

Windows95 / 98 に標準でバンドルされている TCP/IP プロトコルをサポートしています。

■Windows NTの場合

・APPCアクセス方式

Microsoft Windows Open Services Architecture(WOSA)規格の WinAPPC に準拠したネットワークソフトウェアが必要です。

次のソフトウェアのうち、いずれかが必要です。

- ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack 1)以降
- ・ IBM Personal Communications Version 4.11 以降

・DECnetアクセス方式

次のソフトウェアが必要です。

- ・ Compaq Pathworks 32

・NetBIOSアクセス方式

Windows NT に標準でバンドルされている NetBEUI アクセス方式をサポートしています。

・TCP/IPアクセス方式

Windows NT に標準でバンドルされている TCP/IP プロトコルをサポートしています。

SAS/SPECTRAVIEW

・ハードウェア

スクリーン解像度 : 800x600 以上

256 色以上のビデオボード

SAS® Strategic Performance Management 1.4

・必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to ODBC、SAS/CONNECT、SAS Integration Technologies、SAS/IntrNet、SAS/SHARE、SAS/Warehouse Administrator

・必要ディスク容量

Strategic Performance Managementに必要なディスクの容量は上記「必須プロダクト」の合計になります。各々のプロダクトの必要ディスク容量については、「プロダクト単位必要ディスク容量」を参考にしてください。

*注意 すでに SAS 8.2 がインストールされている場合、以前にインストールされていたプロダクト分のディスク容量が必要ありません。

SAS/TOOLKIT

SAS/TOOLKITに関してC言語のみが製品版となっています。その他の言語に関してはベータ版となります。

SAS/Warehouse Administrator

・必須プロダクト

・アプリケーション作成時

Base SAS、SAS/AF、SAS/Warehouse Administrator

・アプリケーション実行時

Base SAS、SAS/Warehouse Administrator

(アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。)

・メモリ

64MB 以上

・CPU

Pentium プロセッサ 200MHz 以上

・プリンタ

グラフィックスベースオブジェクトをプリントアウトするには、カラーまたはグレイスケールのプリンタが必要です。

グラフィックスベースオブジェクトを使用していない場合は、オブジェクトによって SAS/GRAPH が必要になることがあります。

・モニタ

VGA

SVGA

XGA

SAS WebHound ソリューション 4

・必須プロダクト

Base SAS、SAS WebHound ソリューション(下記プロダクトを含む)

(SAS WebHound、SAS/AF、SAS/CONNECT、SAS/EIS、SAS/ETS、SAS/FSP、SAS/GRAPH、SAS High-Performance Forecasting、SAS/MDDB Server、SAS/IntrNet、SAS/Warehouse Administrator)

・必要ディスク容量

SAS WebHound ソリューションに必要なディスクの容量は上記「必須プロダクト」の合計になります。各々のプロダクトの必要ディスク容量については、「プロダクト単位必要ディスク容量」を参考にしてください。

*注意 すでに SAS 8.2 がインストールされている場合、以前にインストールされていたプロダクト分のディスク容量が必要ありません。

・その他の必要条件

- ・ CLF,ELF,IIS もしくはカスタムフォーマットの Web ログ。Web ログには日時スタンプを含んでいなければなりません。
- ・ SAS WebHound レポートを閲覧するための Web サーバー
- ・ 上記インストールを行う際に SAS WebHound 自体のスペースに加え、Web ログデータ、SAS WebHound プロセスデータ用のスペースが必要になります。SAS WebHound プロセスデータ用のスペースは Web サイトの規模、保存されている Web ログの期間に依存します。
- ・ レポートをカスタマイズする場合は、SAS Client Components CD にある SAS/IntrNet Design Time Controls をインストールすることを推奨します。

グラフィックハードウェアとソフトウェアの互換性

*注意 本資料に掲載されていない他のメーカーのグラフィックデバイスでも掲載されているデバイスをエミュレートしているものがあります。ただし、エミュレーションのレベルによってSAS/GRAPHで正しく使用できないものもありますのでご注意ください。

プリンタ

SAS/GRAPHは、Microsoft Windows プリンタ ドライバを用いて任意のプリンタへ出力することが可能です。この場合、SASのWINPRTM(モノクロプリンタ用)、WINPRTG(グレイスケール出力用)もしくはWINPRTC(カラープリンタ用)ドライバを経由して出力します。さらに、一部のプリンタについてはSAS独自のドライバを用意しています。

つぎに、SAS独自のドライバを用意しているプリンタの一部を記載します。

CalComp ColorMaster, ColorMaster Plus, PlotMaster
Canon Bubble Jet, Canon LaserShot
Digital printer (SIXEL, HP PCL, Tektronix, PostScriptエミュレーションモードのいずれかをサポートするもの)
Epson FX and LQ series (およびEpsonエミュレーションモードで動作するプリンタ)
Hewlett-Packard LaserJet, DeskJet, PaintJet, DesignJet printer (およびHP互換プリンタ)
IBM Graphics, Proprinter, Colorjet printer
PostScript printer (カラー、グレイスケールPostscript printerを含む)
QMS Colorgrafix (CGMインタープリンタ使用)
QMS 800, 1200, 1500, 2200, 2400 (QUIC またはTektronixエミュレーションモード使用)
Talaris 800, 802, 1200, 1500, 2400 (QUIC またはTektronixエミュレーションモード使用)
Talaris Printers (EXCL言語使用)
Tektronix Phaser printer (全モデル)
Tektronix 4693 Printers (Tektronix 4510 Rasterizer使用)
Xerox 2700 and 4045 (GRAPHX カートリッジ使用)
Xerox 3700 (イメージボードと最低1MBのメモリ使用)
Xerox 4213, 4235, 4700
Xerox 5775カラーコピー (EFI Fiery使用)

上記リストに掲載されていないプリンタにつきましては、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

プロッタ

SAS/GRAPHは、Microsoft Windowsプロッタドライバを用いて任意のプロッタへ出力することが可能です。この場合、SASのWINPLOTドライバを経由して出力します。

さらに、つぎのプロッタについてはSAS独自のドライバを用意しています。

HP-GLまたはHP-GL/2言語をサポートするHewlett-Packard製プロッタ
--

HP-GLまたはHP-GL/2互換プロッタ DMPL言語をサポートするHouston Instruments製プロッタ GML言語をサポートするZETA製プロッタ

フィルムレコーダ

SAS/GRAPHは、Microsoft Windowsフィルムレコーダ ドライバを用いて任意のフィルムレコーダへ出力することが可能です。この場合、SASのWINPRTCドライバを経由して出力します。

さらに、つぎのフィルムレコーダについてはSAS独自のドライバを用意しています。

Genigraphics Masterpiece Camera System with SCODL Interface Lasergraphics MPS 2000 film recorder with a Lasergraphics UI-100 or RASCOL rasterizer Matrix QCR and PCR cameras with Matrix QVP, MVP, or Lasergraphics rasterizers Polaroid Palette CI-3000 and CI-5000 Presentation Technologies Montage film recorder
--

他のグラフィックソフトウェアとのインターフェイス

SAS/GRAPHには、バイナリーもしくはクリアーテキスト形式のコンピュータグラフィックスメタファイル (CGM) を作成するドライバが含まれています。これによってSAS/GRAPHの出力をWord for WindowsやWord Perfect for Windows、Harvard Graphics、Lotus FreelanceのようなCGM形式のファイル入力をサポートしているソフトウェアに読み込むことができます。

また、HP-GL (ヒューレット・パッカード グラフィック言語) 形式のファイルへの出力もできますので、HP-GL形式をサポートしているソフトウェアへもグラフ出力内容を受け渡すことができます。

その他、SAS/GRAPHでは次のフォーマットのグラフデータを作成することができます。

- BMP - Microsoft Windows Bitmap
- DIB - Device Independent Bitmap
- EMF - Microsoft NT Enhanced Metafile
- EPSI - Encapsulated PostScript Interchange
- GIF - Graphics Interchange Format
- JPG - JPEG Files
- PBM - Portable Bitmap
- PS - PostScript Bitmap
- TIFF - Tagged Image File Format
- WMF - Microsoft Windows Metafile Format

また、SAS/GRAPHでは次のフォーマットのグラフを読み込むことができます。

- BMP - Microsoft Windows Bitmap
- DIB - Device Independent Bitmap

- EMF - Microsoft NT Enhanced Metafile
- EPSI - Encapsulated Postscript Interchange
- GIF - Graphics Interchange Format
- JPG - JPEG Files
- PBM - Portable Bitmap
- PCD - PHOTO CD
- PCX - PC PaintBrush
- PNG - PC Portable Network Graphics
- TGA - TARGA format
- TIF - Tagged Image File Format
- WMF - Microsoft Windows Metafile Format
- XBM - X Window Bitmaps
- XWD - X Window Dump

ActiveXとJavaデバイスドライバによって作成されたHTMLファイルの閲覧

SAS System 8では、ActiveXとJavaデバイスドライバを利用してHTMLファイルを作成することができます。

ActiveXデバイスドライバを利用して作成されたHTMLファイルは、Windows上にてInternet Explorer 5以降を使用する以外に閲覧する方法がありません。

Javaデバイスドライバを利用して作成されたHTMLファイルを閲覧するには、下記のオペレーティングシステムおよびWebブラウザが必要です。

Webブラウザ	オペレーティングシステム
Netscape Navigator Version 4.08以降	AIX/6000、HP-UX、Solaris、ABI for Intel、IRIX、Tru64
Netscape Communicator Version 4.04 for Warp 4	OS/2
Internet Explorer Version 5 (Java VM 5.0.0.3167以降) Netscape Navigator Version 4.07以降	Windows 95 / 98、Windows NT、 Windows2000

システム必要条件SAS® 8.2 (TS2M0) Windows版 (CJK版)

2003年12月1日 第5版第1刷発行

発行元 SAS Institute Japan 株式会社

〒104-0054 東京都中央区勝どき1-13-1 イヌイビル・カチドキ8F

電話 03(3533)3066

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SASテクニカルサポート

TEL: 03 (3533) 3877

FAX: 03 (3533) 3781